別紙（一七）

檄！！

全市二千名従業員諸君！

公共事業だ。市民の為だ、と云つて操短に操短を重ねた市電当局は何処迄も我々の一割減俸を

断行しようと近頃市電の為に忠義を尽させようとしてゐる。之に対して我々は当局の財政困難は

局自身で再び俺達無産者に転嫁するのは余りに封建的ではないか。而もブル新聞

のデマと横暴は殆ど我々の苦しみの上に成り立つてゐる。

市電従業員一万二千の大衆諸君の為めに我々は飽迄も反対するか、彼等は実に実行すれば

餓死する！我々の最大の犠牲にすり換へて、只餓死と生活難を避ける為の争議

あるのみ！怒り！斗争こそ俺達に俺達の生活をささせて呉れるのだ。

と叫んで立つた同志の行動は無条件に勝利するか、

全市二千名従業員諸君！

市民の犠牲で[illegible]してゐるのは誰か資本家か、当局か、

市電当局だ！！斗争の団を破り、裏切者の日の目を見る一滴迄しぼりとして其の肩

洗れ！全市や市民の運動の[illegible]、市電当局だ！

従業員よ！言つて[illegible]、市電当局は抗議し、勇敢に斗つてゐる一万二千！

従業員のみん[illegible]の為めに！

我等市電二千名従業員会は諸君と共に全力を挙げて市電争議を応援しよう。

市電争議に基本要求を出せ！

市電争議を支援しよう！

自治労働者のみん！

[illegible]

5.29

労秘第一五六七號

昭和五年五月二十一日

警視總監　丸山鶴吉

内務大臣　安達謙藏殿

鐵道大臣　江木翼殿

遞信大臣　小泉又次郎殿

宮内大臣　一木喜德郎殿

各廳府縣長官殿

東京地方裁判所檢事正殿

東京警備司令官殿

社會局長官殿

東京市關係三勞働團体ノ賃金一割減並解雇其ノ他ノ反對運動ニ關スル件　第十三報　罷業打切後ノ情勢